

# 08

# センシング技術とDXの活用による 持続可能な社会への貢献

## 概要

**課題：**発生原因の”情報媒体”であるにおいをその場で判定できるデバイスの開発

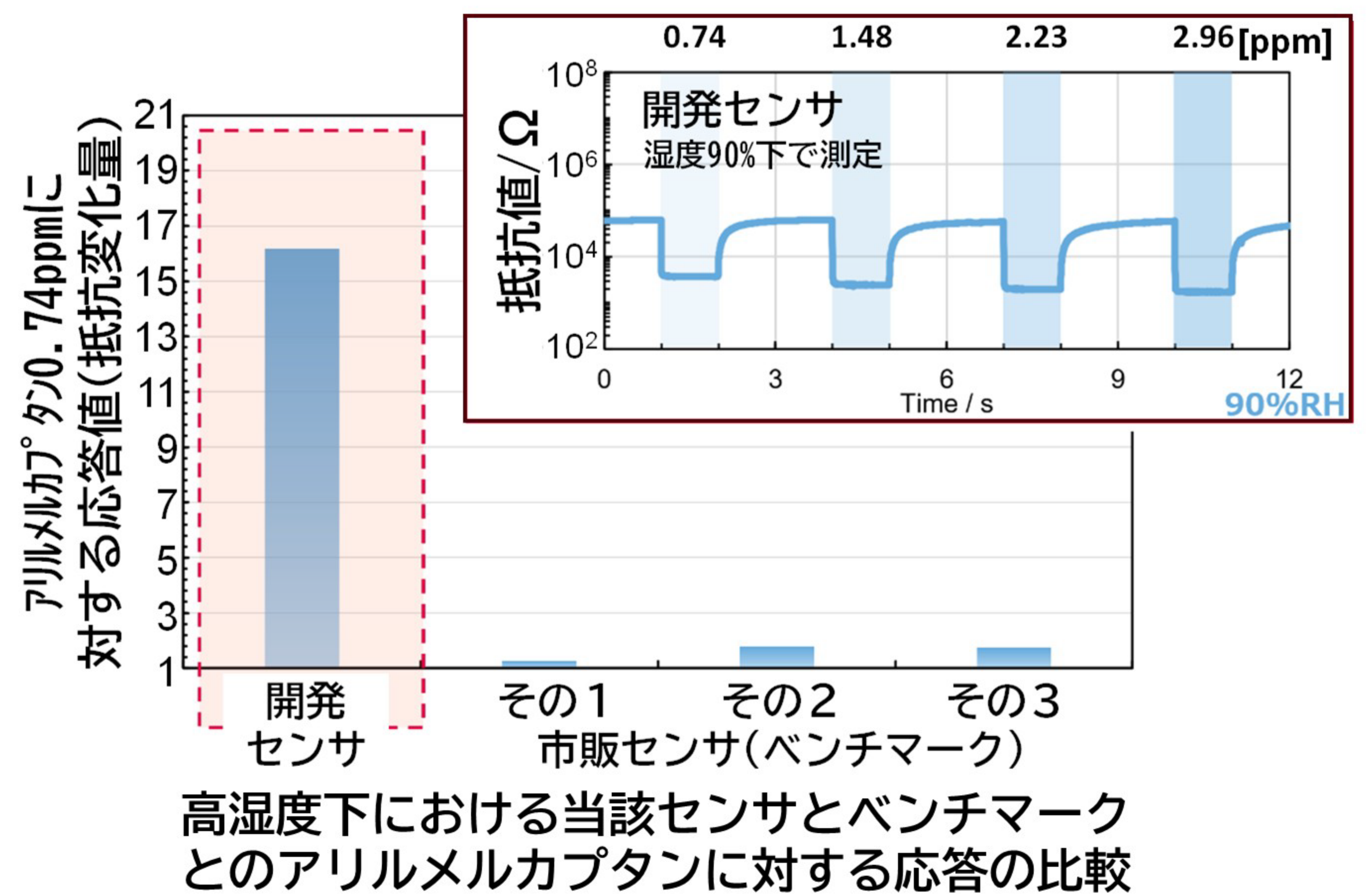
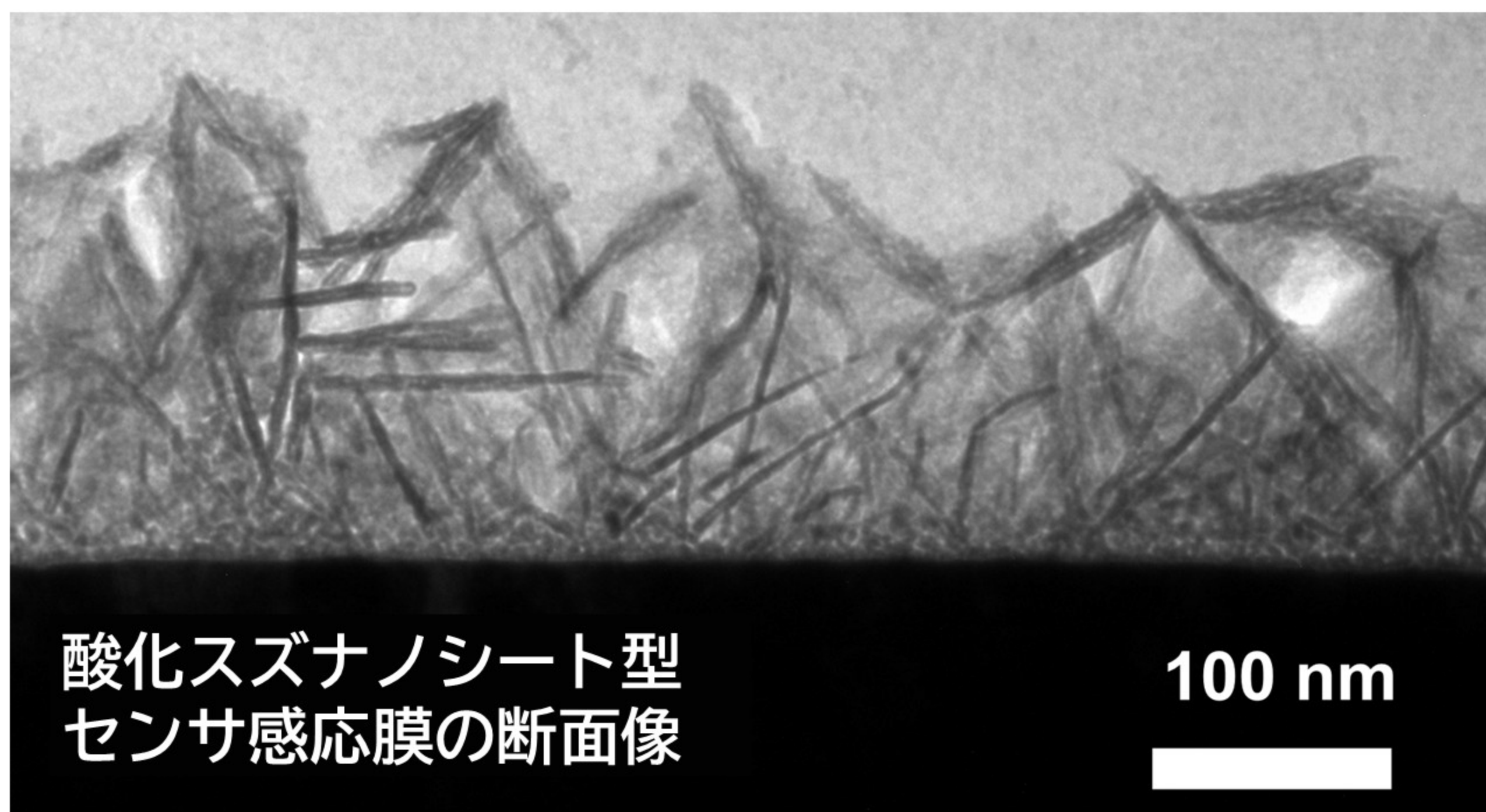
### 開発ポイント

- ▶ 耐久性や小型・低コスト化に優れる半導体式センサを複数組み合わせ
- ▶ 複数のセンサシグナルを機械学習に掛けてにおいを判定

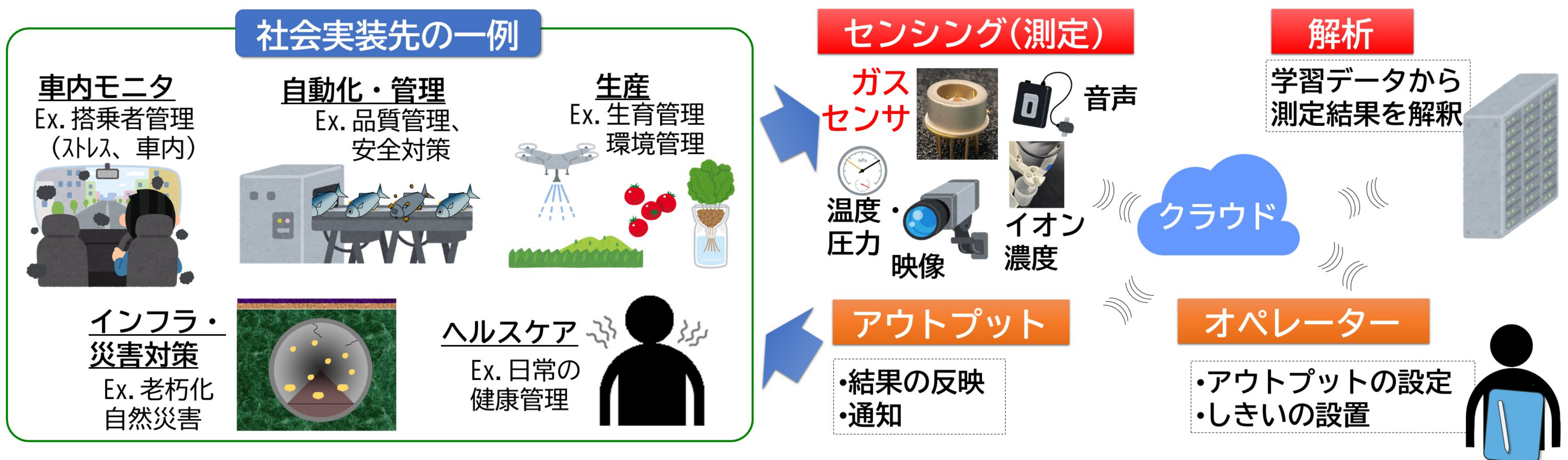
### アピールポイント・革新性：

- 既存のセンサ性能を遥かに凌ぐ超高感度ナノシート型センサを開発  
⇒ センサアレイ（複数のセンサ）への搭載でにおい識別性能を飛躍的に向上

## ベンチマーク



## 未来予想図 - センシング技術とDXの活用 -



## 共創課題 - オープンイノベーション -

- センサアレイの量産化技術開発、におい計測の応用先の探索
- 嗅覚を含む五感に関するセンシング技術の融合とこれを用いた応用先の探索



産総研 材料・化学領域 マルチマテリアル研究部門 センシング材料研究グループ

伊藤 敏雄

連絡先：技術相談ML (M-chubu-counselors-ml@aist.go.jp)



ともに挑む。つぎを創る。